

行政の窓

平成22年度 北海道木材需給見通しについて

平成22年度北海道木材需給見通しを取りまとめたのでお知らせします。

● 需 要 ●

21年度は、景気後退の影響が続き、全体の半数以上を占めるパルプ用が大幅に減少したことにより、20年度実績に対し17.3%減の623万m³となる見込みです。しかしながら、22年度は前年度の落ち込みから回復する分野もあり、21年度見込みに対し約4.6%増の651万m³となる見通しです。

なお、北海道の木材総需要量はパルプ用の割合が約56.1%と全国に比べ高くなっています。

(19年全国木材需給のパルプ用割合44.3%：林野庁「森林・林業白書」)

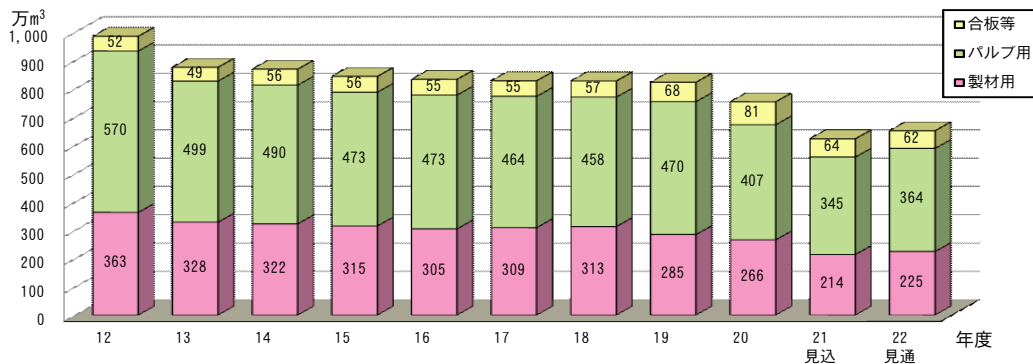


図1 需要量の動向

● 供 給 ●

21年度は全般的に大きく減少し、輸入材のうちチップが大きく減少したことにより、20年度実績より17.3%減の623万m³となる見込みです。

22年度は古紙の輸出増加による木質原料の増加もあり、総供給量は前年度より約4.6%増の651万m³の見通しです。

なお、道産材供給率は、チップ輸入量が増加することから、21年度は56.4%、22年度は54.9%となる見通しです。

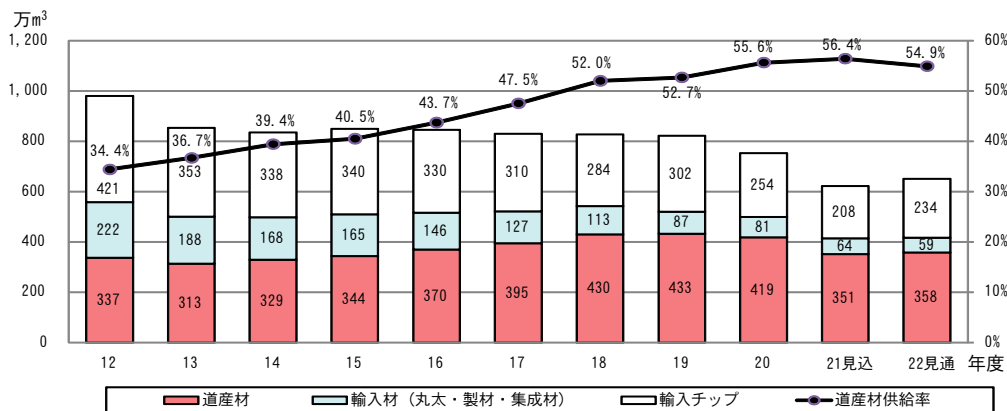


図2 供給量の動向

※数値は原木消費量または原木換算値
(水産林務部林務局 林業木材課 木材産業グループ)